

かがやく花々

平和の子ら

学校法人平和学園
平和学園小学校
2015年度 学校だより 第13号
〒253-0031
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2
Phone 0467-87-1662/ 0131
Fax 0467-87-0411
サイト <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

年間聖句 (2015年度)

子たちよ、言葉や口先だけではなく、行いをもって誠実に愛し合おう。
ヨハネの手紙 一 3章18節

羽ばたく前に

校長 橘 明子

創世記の第一章のお話はこの世界が神さまによってつくられた、世界のはじまりのお話です。神さまの深い思いの中で私たち人間は命が吹き込まれ、ここに存在しています。神さまにとって誰もが大切な存在。誰もが愛されて生かされています。自分という存在がいかに大切であるかということ、また共に生きるすべての人も大切な存在であるということ。私たちは平和学園で学び、心に聖書の言葉が蒔かれています。今も昔も変わらずに…。

三学期は子どもたちが目標を持って向き合う行事がありました。三月にもまだ予定している行事もあります。向き合う子どもたちは一人ひとりが輝いています。子どものうちにある力は計り知れないと感心させられ、改めて子どもの世界の奥深さに驚かされます。一つの行事の中で楽しいこともあれば、苦しいこと辛いこともあります。その時々で子どもたちの心は様々なことを感じて成長していることが、この三学期の行事を通して分かりました。

「自分が辛く苦しくても、相手を思いやる言葉や行動」を子どもたちはさりげなくとっています。それは学校だけでは育つ力ではありません。家庭生活の中でも保護者の皆様が子どもたちに伝えて下さっているからでしょう。そして、なにより神さまの愛を信じ、育まれていることが大きな力となっていることがわかります。ご家族と神さまの支えがあることに感謝して、学校生活を過ごしていきたいと思えます。

2015年度の歩みも最後の1ヶ月を迎えました。今年度も子どもたちの心の中にはたくさんの成長の種がまかれたことでしょう。蒔かれた種はいろいろ

です。すぐに成長するものもあれば、芽すらなかなか出ないことだってあります。大きくなっても実をつけない、葉の色が良くないなどと、気を揉むこともあるでしょう。しかし、種は蒔かれました。成長させてくださるのは神さま。人の目にはそのように写っても、神さまのご計画がそれぞれにあります。一人ひとりがこの学校生活で得てきた自信、…それがまわりからは小さく見えたとしても…をこれからの糧や自信にして下さい。時間がかかることもあるります。しかし、焦らず自信を失わずに大きくなってほしいと願っています。平和の子は一人ひとりが愛され尊重されてきました。だから、隣人とともに生き「平和を作り出す人」として大きな社会に出て行けるのです。現代社会の中で生きている私たちには、誘惑が多く、大切なことを見失ってしまうことがたくさんあります。しかし、神様から与えられた、「その人だけの道」をまっすぐに信じて、生きていく力を蓄え、平和を実現して行ってほしいです。

平和学園の柱である建学の精神、そして、創立者である、村島先生、賀川先生の生き方は今の私たちにとって大切なことを教え、伝えていきます。自分に誇りを持ち、隣人と何事をも共有して生きることの大切と、隣人を認め合い、支えあいながら「平和を作り出す」精神を、私たちは、今一度心に刻みたいと思います。

いよいよ学び舎を巣立っていく6年生。平和学園小学校で学んだことを誇りに、胸を張って大きく羽ばたいて欲しいと願っています。

三学期も残りわずかとなりました。最後まで子どもたちとともに歩んでまいりたいと思います。